

令和3年2月定例会 代表質問【質問者および質問項目】

質問日 令和3年3月8日(月) 質問者 5名

質問時間は答弁時間を含めず、(基礎時間20分+会派構成議員数×5分)であり、会派ごとの上限は60分間です。

質問方法は、一括質問一括答弁方式で行います。

発言順位	議員名(持ち時間)	会派名	発言事項
1	瀬川 裕海 (60分)	草政会	<p>○新型コロナウイルス感染症対策等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種の実施に向けて、財政負担をはじめ、国が責任をもって担う範囲と、本市が責任をもって担う範囲について伺う ・4月以降、ワクチン接種に特化した十分な職員体制をとる必要があると考えるが、どのような体制を構築されるのか伺う ・看護師不足を含め医師会との調整はどこまで進んでいるのか。また個別接種となるのはどのようなケースで、それぞれの接種場所はどのように想定されているのか伺う ・ワクチン接種を受けられる市民の中には、高齢者や障害がある方、基礎疾患のある方、移動が困難な方、交通弱者の方、また、日本語の理解が十分でない外国の方もおられるが、そうした方々への対応について伺う ・2回目のワクチン接種までの間に、転入、転出をされる場合、自治体間で、しっかりとした情報共有が必要になると考えるが、どのように対応されるのか ・ワクチン接種による副反応への不安を取り除き、市民が安心して接種を受けられるように、市はどのように対応されるのか。また、万が一、副反応が出たときの対応について、現段階での考えを伺う ・ワクチン接種についてさらなる情報発信が必要と考えるが、所見と今後の改善方針について伺う <p>○第6次草津市総合計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想の12年間で、具体的にどのようにまちの資源の高度集積や活用を行い、どのようにまち全体の魅力や活力を生み出そうとしているのか ・第1期の基本計画の4年間で、どの程度まで、まち全体の魅力や活力を生み出せるように考えているのか。JR草津駅およびJR南草津駅での4年間の具体的な取り組みなどを問う ・まち全体の魅力や活力を生み出す根拠として、JRの2駅だけで良いのか ・基本構想の12年間で、地域特性を最大限に生かした広域連携を具体的にどのように進め、産業の振興や地域の活性化をどのように促進するのか ・第1期の基本計画の4年間では、どの程度まで、産業の振興や地域の活性化を促進できるのか、具体的な取り組みなどを問う ・基本構想の12年間で、地域特性を最大限に生かし、幅広い人々の交流をどのように促進するのか ・また、第1期の基本計画では、どの程度まで、地域特性を最大限に生かし、幅広い人々の交流を促進できるのか、4年間の具体的な取り組みなどを問う ・環状軸を相互に接続するため、基本構想の12年間で、どのように実現させるのか ・第1期の基本計画では、具体的にどのように取り組み、どの程度まで実現できると考えているのか ・湖辺の賑わいを地域経済へ還元できる具体的な取組をどのように考えているのか ・実施する事業について、様々な効果を発揮できるように創意工夫して取り組んで行くために具体的にどのように考えているのか。また、終期を定めて、4年間で効果が少ない事業については、スクラップしていくことを基本計画の中でどのように整理していくのか <p>○令和3年度当初予算などについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨今のコロナ禍の厳しい社会経済環境を踏まえた本年の予算措置の特徴を問う ・補正予算で対応することについて、市民への説明責任等も踏まえて、市長の所見を問う ・コロナ関連の国の交付金を活用しない、いわゆる市単独での予算措置について問う ・補正予算で対応することを踏まえ、今後の財政見通しをどのように改善していこうと考えているのか ・スクラップ・ロードマップの仕組みを発展させ、既存事業の大胆かつ抜本的な見直しを推し進めることが出来ているのか ・地域内経済を積極的に循環させていくような対策を具体的にどのように講じていくのか。また、「地消地産」をどのように捉えているのか。さらに、令和3年度当初予算にコロナの収束後を見据えた地域活性化の予算措置をどのようにされたのか ・草政会の要望についてどのように受け止め、令和3年度当初予算について、具体的にどのように予算措置したのかなどを問う

発言順位	議員名(持ち時間)	党派名	発言事項
			<ul style="list-style-type: none"> ・優先的に整備を進めるべき道路の考え方をどのように整理して、具体的にどのような計画を策定していこうと考えているのか ・大江霊仙寺線の大津側までの整備はいつごろまでに整備しなければならないと考えているのか ・湖南幹線までの東西軸としての接続について、どのように取り組んで行くのか ・平野南笠線について、いつ頃から取り組んでいく必要があると考えているのか。また、その整備開始から事業完成までに何年ぐらいを想定しているのか ・県への整備に向けた優先順位の考え方をどのように整理していくべきと考えているのか ・区間6の整備スケジュールをどのように考えているのか。また、山手幹線までの接続については、どのように考えているのか ・緊急浚渫推進事業についても、一定の条件で優先順位をつけ、また予算規模も拡大して計画的に取り組んでいくべきではないか ・ハザードマップ見直しにあたってどのような被害想定となるのか ・ハザードマップについてどのような周知をしようと考えているのか ・構想の視野に入れておられる草津パーキングエリアの実現性についてはどのように考えているのか ・「滋賀県・草津市の南の玄関口構想」に的を絞ったコンパクトプラスネットワークの具現化を図ることができる体制づくりなど、令和3年度においてどのような検討がなされるのか
			<p>○固定資産税の増収の要因と都市計画マスタープランについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定資産税が過去最高額の収入見込みとなった要因をどのように分析しているのか ・将来も開発できる土地を想定したエリアの拡大についてどのように設定していくのか ・区域区分の見直しにおいて、他市では、農振農用地を市街化編入していることの所見を問う ・農振農用地の転用が出来ない要因は何なのか。その要因を取り除く方法はないのか ・今後の農振農用地の開発に向けて、職住近接の観点から踏まえた市長の考えを問う
			<p>○地域再生の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常盤学区や山田学区のプランの進捗状況などを問う ・道の駅草津の現状や課題をどのように認識され、どのようなリノベーションの方向性を考えているのか ・ロックベイガーデンの活性化についてどのように仕掛けていくのか。農家レストランの設置についての可能性を問う ・山田学区の実現に向けて、関係課がどのように連携して推進していくのか ・志津学区、笠縫学区について、各プランに基づき、どのような予算措置をしているのか ・残りの3学区の地域の思いや策定の進捗状況を問う ・いつ頃を目途に地域の再生を図るのか。積極的に推進していく強い思いを問う
			<p>○地域まちづくりセンターの更新について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度予算にまちづくりセンター更新関連予算がなぜ計上されていないのか。また、今後、どのような基準で、どの地域まちづくりセンターを更新していくのか ・更新を進めて行く地域まちづくりセンターについて、どのように機能を付加していくべきと考えているのか
			<p>○カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言されたことの意義をどのように考えているのか ・2050年 ゼロカーボンシティの宣言をする考えはないのか ・「地域循環共生圏の形成」や「分散型エネルギーシステムの構築」の実現についてどのように考えているのか ・企業版ふるさと納税の寄付先となることを問う
			<p>○火葬場整備と広域連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新火葬場の整備にあたって、PFI導入の可能性を検討する意義を問う ・運営にあたっては、草津市と栗東市での行政事務組合の設置による運営とするのかなどを問う ・将来、湖南広域行政組合での処理も視野に入れておくべきではないか
			<p>○公立幼稚園の認定こども園化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳児への幼児教育推進や質の高い幼児教育がどのように確立できてきているのか

発言順位	議員名(持ち時間)	会派名	発言事項
			<p>・将来の就学前人口や地域需要の動向は、すべてカバー出来ると考えているのか</p> <p>・子どものすこやかな成長と、保護者の子育ての学びについて、本市の支援や対応策を伺う</p> <p>○大規模事業の推進について</p> <p>・草津市立プールについて、事業者の提案に齟齬はないのか。また、どのような取り決めを行っておくべきと考えているのか</p> <p>・県の整備負担、14年10カ月の維持管理の費用は、どの程度の負担となるのか</p> <p>・14年10ヶ月以降の修繕等の維持管理について、県の負担をいただくために、どのような取り決めをしているのか</p> <p>・中学校給食の実施することの意義およびどのような食育の推進を図ることができるのか</p> <p>・保護者や生徒に対して十分な説明が求められる中で、具体的にどのように説明等をしていくのか</p> <p>・給食の食べ残しが無くなる工夫はされているのか伺う</p> <p>・小学校給食センターと同様に今後の災害に備えて、どのような防災機能を持たした上で運用していこうと考えているのか</p> <p>・烏丸半島中央部観光施設事業用地の活用について現時点での取り組み状況を伺う</p> <p>・強力なリーダーシップを発揮し、どのような働きかけをいただいたのか。次の展開をどのように仕掛けていくべきと考えているのか</p> <p>○組織・執行体制について</p> <p>・女性職員の職域拡大を推進し、総合的な組織力の強化を図ることの所見を問う</p> <p>・少数精鋭の市民サービスを目指す効果的な執行体制とすることについての所見を問う</p> <p>・男女関係なく職員の個性や特性を活かした組織づくりについての所見を問う</p> <p>・令和3年度の執行体制について、どのような執行体制で臨むのか</p> <p>○安心して暮らしやすい社会づくりについて</p> <p>・人口増加、高齢化が急速に進む本市において、どのような防犯対策と防災対策を考えているのか</p> <p>・交番の増設や警察官増員配置を国県へ要望しておられる中で、市民の安全確保のために、どのような対策を考えているのか</p> <p>○市長のリーダーシップについて</p> <p>・コロナ禍への対応に加え、第6次総合計画がスタートする令和3年度において、市の独自性をどのように発揮するのか、市長の意気込みを伺う</p>

発言順位	議員名(持ち時間)	会派名	発言事項
2	杉江 昇 (40分)	市民派クラブ	<p>○第6次草津市総合計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画推進におけるSDGsロゴの標記とベンチマークについて ・未来を考えるシナリオ「くさつ愛」について <p>○「こころ」育むまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクールの推進について <p>○「笑顔」輝くまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生社会の構築について ・地域共生社会の具体化について ・小学校区の住民自治の方法の再検討の必要性について ・そもそもの地域運営組織について ・市民公益団体と基礎的コミュニティについて ・労働者組合法について ・マイナンバーカードの普及について ・パーソナル・ヘルス・レコードについて <p>○「暮らし」を支えるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公契約条例について ・気候非常事態宣言と地球冷やしたいについて <p>○「魅力」あふれるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地ゾーンの役割の再認識と重要性について ・シニアの地方移住とウォークアブルな空間について ・第3次草津市みどりの基本計画と草津市健幸都市基本計画について <p>○「未来」への責任～施策推進にむけて～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業のスクラップについて
3	西垣 和美 (30分)	公明党	<p>○ウィズコロナ・ポストコロナ時代における市政運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の予算編成について ・市の組織体制について ・「変化」でなく「転換」が求められる時代の市の職員の役割について ・市民サービスの向上につながるDX推進における高齢者のデジタルデバイス解消の方策について <p>○ダイバーシティ&インクルージョンのまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草津市役所の女性の活躍推進支援について ・LGBTのパートナーシップ制度の導入とLGBT教育の推進について ・「あい・ふらっと」新男女協働参画センターの機能強化について <p>○健幸創造都市の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健幸ステーションの機能の拡充について ・フレイル予防の取り組みの推進について ・UDCBKでのソフト面での都市デザインの柔軟な活用について <p>○将来の草津市の介護のあり方のビジョンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2040年を見据えた草津市の介護の姿をどう描くのか <p>○子育て支援施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳から3歳までの子育てにおける認識と小規模保育の質の向上について ・と送迎保育ステーションの開設について ・子育て世代包括支援センターの連携機能や相談機能体制について <p>○環境政策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の環境学習の推進について ・環境関係団体をつなぐコーディネーター機能を市が行うことについて <p>○おうみ犯罪被害者支援センターとの連携協定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心なまちづくりの推進のために「おうみ犯罪被害者支援センター」との連携協定を結ぶことについて <p>○SDGsの取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの理念のもと、新しい具体的な取り組みについて <p>○教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携・協働のためコミュニティスクールについて ・GIGAスクール構想による新たな学びについて

発言順位	議員名	会派名	発言事項
4	藤井 三恵子 (30分)	日本共産党 草津市会議員団	<p>○国政の焦点と市長の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅政権への認識について ・女性蔑視発言問題から人権意識について ・核兵器禁止条約発効から平和への取り組みについて ・高齢者医療費削減、社会保障削減について <p>○新型コロナウイルス感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の実態の公表について ・PCR検査への助成について ・財政支援について ・休業補償が出ないことについて <p>○国民健康保険制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険料の統一による改悪、負担はやめよ ・子どもへの均等割り軽減措置について ・保険料の猶予について ・高齢者医療への改悪に反対せよ ・短期保険証・資格証明書の発行はやめよ <p>○生活保護の扶養照会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扶養照会はやめることについて <p>○第8期介護保険制度の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護現場への実態把握について ・国の施設入所の食費負担の見直しについて ・第8期介護保険料の値上げはやめよ <p>○教育行政について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級について ・加配教職員の充実について ・感染症対策等支援事業について ・教育のICT化について ・図書館事業について ・学校のマンモス化について <p>○公共施設の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公有財産の有効活用について ・(仮称)草津市立プールの建設について <p>○2021年度の予算編成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草津市第6次総合計画の推進の中で、国の地方財政措置の指針からどのように影響を受けるのか
5	八木 良人 (30分)	チャレンジくさつ	<p>○DX(デジタルトランスフォーメーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXの重要性和推進体制について ・幹部職員へのDX研修とリテラシー教育について ・千葉レポやデシディムのような市民参加プラットフォームについて ・まちづくりセンターへの通信環境整備について ・オープンデータ推進についての具体的施策 <p>○仮称・草津市立プール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定過程の透明化・情報公開について ・デジタルヘルスケア拠点とUDCBKのかかわりについて <p>○弱い立場の方々へのサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー平等とジェンダーギャップ解消について ・パートナーシップ制度を設けることについて ・コロナ禍で支援が必要な方へのアウトリーチについて ・アウトリーチにまちづくりセンターへの人員配置と予算配分について <p>○新しい時代を担う子どもたちへの教育のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校におけるDXの取り組みと、子どもたちの将来像 ・議論のプロセスを大事に子どもたち自らが決めていく教育について ・コミュニティ・スクールの推進と課題